



## 北方領土を取り返すにはアメリカの後ろ盾が必要？

千島の国後(クナシ)島をロシアのメドベージェフ大統領が昨年11月1日に訪問した。「国後は返さないぞ」と云う決意なのだろうか？

これまでの自民党、民主党政権は「国後、択捉(イトウ)は南千島であって、サンフランシスコ条約で放棄した千島ではない」と詭弁を弄するだけであった。

歴史を調べると、1855年(安政2年)に国後、択捉を日本領とし、樺太上の国境を未画定とする「日露通好条約」が結ばれた。その後、1875年(明治8年)「樺太・千島交換条約」が結ばれ、樺太全土をロシア領に、ロシア領だった北千島を日本領にしました。ここで全千島が日本領と確定したのです。ところが、第2次大戦の戦後処理として領土不拡大を謳ったカイロ宣言、ポツダム宣言に反してスターリンは千島、歯舞色丹

を占領してしまいました。

今ロシアに問うべきなのは「他国の固有の領土占領」というスターリンの誤りを継承するのか？それとも改めるのか？と云うことです。

これに対して「そんなことを云っても国際関係は力で決まるからアメリカの後ろ盾がないとダメ」と云う意見があります。でも「サンフランシスコ条約第2条C項」には「千島列島の放棄」が書かれていて、アメリカはその条約に調印しています。つまり、アメリカから見ると千島は日本領で無いことは明確だし、そんなアメリカを頼りにしても意味はありません。

このサンフランシスコ条約2条C項をカイロ宣言に即して改めることなしには日本の「千島は日本領」と云う主張は受け容れられないと思いますが、皆さんはどう思われますか？



## 冬の浦賀水道

三浦半島長沢 平和の母子像前から

三浦半島の先端近く、京急長沢駅から三浦富士へのハイキングの道がある。登り口の近くに右の絵のような「平和の母子像」がある。

一九七七年横浜市緑区で米軍機の墜落により幼い兄弟が焼死。母親も大やけどを負い四年後に亡くなった。このような悲惨な事故を無くす為、核も基地もない平和な日本を作りたいと願った人々によってこの「平和の母子像」が建てられた。

その前の広場から浦賀水道を望むことが出来る。手前は京急長沢駅周辺の街。向かいには房総半島の山々が見える。そして浦賀水道にはひっきりなしに船が往き来している。

